

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

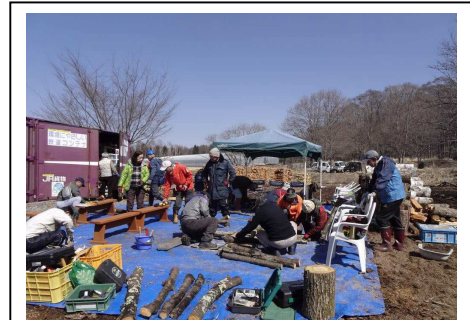
事業名	木障をなくして美しい里山をつくる杣人の事業
事業主体 (連絡先)	杣人の会 諏訪郡原村中新田15829番地
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,409,480円 (うち支援金: 2,610,000円)

事業内容

原村は「日本でもっとも美しい村」連合に加入し、美しい村をめざして自立していくことになったが、最近では里山の保全が滞りがちで木々木障となり、作物の生育障害や道路凍結による危険等が発生している。また、住民の高齢化により屋敷林の支障木等も放置され安全な生活環境を阻害している。

このため、地域住民と協働して、木障を取り除く伐採、間伐を行い、快適で安全な生活環境、美しい里山景観の創出を行う活動を進め、伐採木は薪ストーブの薪として加工・頒布する。

また、これらの事業を継続的に実施できるよう杣人育成を図るため各種の講座を開催していく。



【目標・ねらい】

- ①伐採案件の拡充
- ②認知度の向上
- ③財政基盤確立
- ④新規会員の確保

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①支援金を活用して機材導入ができたことにより作業の効率化が図られ、伐採作業を大幅に拡大することができた。また、薪割り機の更新により頒布する薪の量が増加し、会の財政基盤の確立、自立化を見通せた。
- ②パンフレット作成、HPでの広報活動により会の認知度が上がったことで伐採の依頼案件が増大した。
- ③古くからの住民だけでなく移住された新住民が講座等の活動を通じて新規入会したことで会員数が倍増し、活動の幅がさらに広がることが期待できる。

※自己評価【 A 】

【理由】支援金を受けたことで作業日数が飛躍的に増加し、認知度の高まりから伐採案件も急増している。また、新規の入会者も倍増する勢いであり、計画を過達できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

これまでの取り組みをさらに発展、強化しつつ、杣人の会が地域の交流拠点としての機能を付加していくことが必要と考える。具体的には新旧住民が連携・交流できるよう施設や設備を有効活用していく方策を模索していく。

また、財政基盤を確立し将来的にも自立した会の運営ができるようにする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある